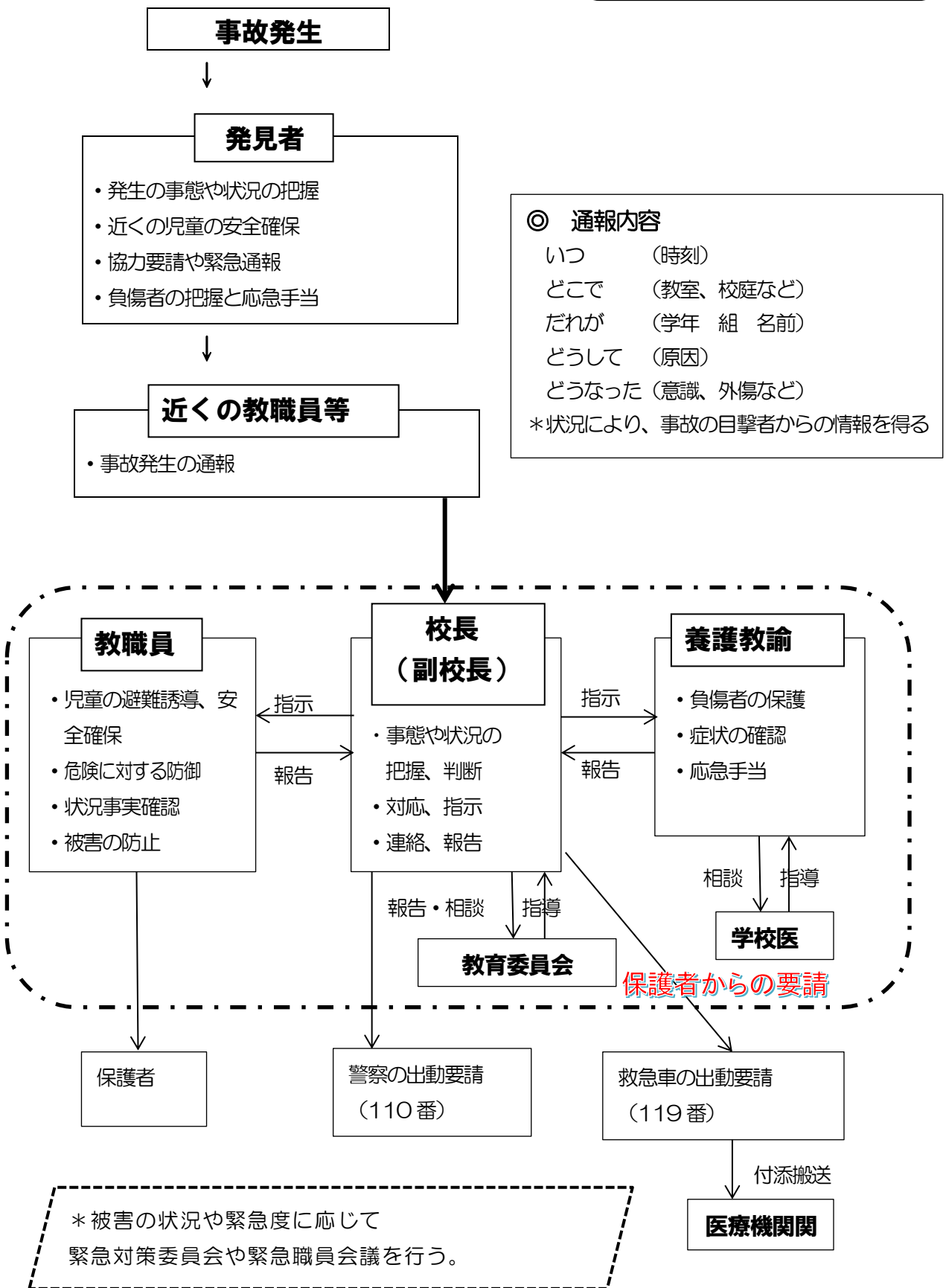


# 事故対応マニュアル

## 1. 事故現場での対応体制

【AEDは2台設置】

場 所：①正門の外  
②保健室



## 2. 事故発生時の係分担

係	担当	内容
総指揮	校長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事態や状況の把握、判断</li> <li>・副校長、教職員、養護教諭等への指示</li> <li>・防御、避難誘導の指示</li> </ul>
通報連絡	副校長 教務主幹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車の出動要請</li> <li>・警察の出動要請</li> <li>・保護者への連絡</li> <li>・教育委員会への報告</li> <li>・報道機関の対応</li> <li>・記録</li> </ul>
避難誘導	学級担任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所への誘導</li> <li>・避難場所での安全確保</li> </ul>
防 御	専科・担任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故現場での二次被害の防止</li> </ul>
救護活動	養護教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負傷者の保護</li> <li>・症状の確認</li> <li>・応急手当</li> <li>・健康状態の把握</li> <li>・心のケア</li> </ul>

**【救急車要請基準】** （要請は管理職に相談する。全教員が行う。）

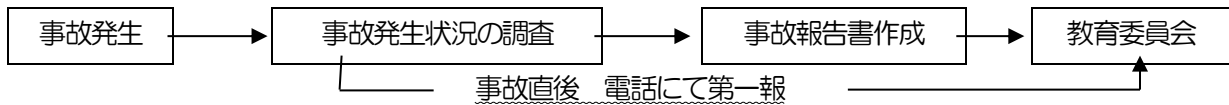
- ・意識がないとき
- ・ショック状態のとき
- ・多量の出血を伴うとき
- ・激痛を訴えるとき
- ・けいれん状態のとき
- ・大きく開いた傷口があるとき
- ・大きな骨の変形を起こしたとき
- ・広範囲の火傷があるとき
- ・命の危険があると思われるとき
- ・保護者からの要請があったとき

※負傷部位が首より上の場合は、救急搬送を想定すること

### 3. 事故発生後の報告と事後処理

#### (1) 教育委員会への報告

事故発生後できるだけ速やかに、教育委員会に報告する。



#### (2) 日本スポーツ振興センター申請手続き

- ・重大な事故の場合は、指導計画・内容、当日の状況等の詳細な報告を求められる。記録は正確にとり長期にわたって保存する。

#### (3) 記録の管理

- ・事故発生の状況や措置について、時系列で記録する。
- ・記録は添付書類（指導計画、指導内容等）とともに長期保存をする。

#### (4) 他の児童への指導

- ・他の児童が不安に陥ることのないよう配慮する。
- ・事故の概要について可能な範囲で、できるだけ早く説明する(全校集会等)。
- ・安全対策を再点検するなど再発防止について指導を行う。

#### (5) 対外折衝

- ・無用の混乱を避けるために、窓口を一本に絞って管理職が行う。

#### (6) 保護者への説明

- ・重大な事故の場合は、事実と異なった内容が流れ、不安や混乱を招く恐れもあるので、校長と教育委員会は連携を図りながら、必要と認めた場合に保護者への説明の場を設定する。連絡メールや配布物等で知らせる場合は連絡内容を簡潔にし、正確に伝わるようにする。

## 緊急通報マニュアル 救急車を要請する場合

◎「119」をダイヤルする。

・「こちら消防庁。火事ですか、救急ですか。」

「救急車をお願いします。」

「江戸川区立東小松川小学校です。」

「住所は江戸川区東小松川3-27-1です。」

「電話番号は、03-3652-7413です。」

「けが人(病人)は 小学〇年生、男子、(けがの起きた状況)」

「症状、けがの状態は \_\_\_\_\_」

目標の建物は？と聞かれたら  
「SONPO ケア ラヴィーレ船堀」  
と答える

正門を開け、通りに出て、救急車が到着したら案内をする。